

平成 31 年度国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高等学校 改訂版 標準古典B (第一学習社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・先人のものの見方や感じ方、考え方を学び、自分の価値観の礎を作ろう。
- ・古典についての理解や関心を深めることで、人生を豊かにする広い教養を育てよう。
- ・進路実現を図るため、古典文法の知識を計画的に習得しよう。

2 学習の到達目標

- ・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
- ・古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
- ・古典文法の知識を計画的に習得する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:読む能力	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉え、その内容を理解している。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、文法や知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) 		<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主な評価 の観点				単 元 (題 材) の 評 価 規 準	評 価 方 法
			a	b	c	d		
1 学 期	説 話	『古本説話集』 「平中が事」	○		○	○	a 比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 c 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 d 本文を正しく音読している。 古典文法：助動詞「なり」「たり」を理解している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査

		『十訓抄』 「文字一つの返し」	○		○	○	a 比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 c 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 d 助詞を一語変えるだけで返歌としたことのおもしろさを理解している。 古典文法：助動詞「けり」を理解している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
		『古今著聞集』 「小式部内侍が大江山の歌の事」	○		○	○	a 和歌の修辞を理解し、物語を読み進めようとしている。 c 人物の心情やできごと等を読み取っている。 d 古語を理解し、適切に現代語訳している。 古典文法：助動詞「ず」を理解している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
	物語 ㊦	『竹取物語』 「火鼠の皮衣」 「天の羽衣」	○		○	○	a 『竹取物語』の背景を理解し、物語を読み進めようとしている。 c 人物の心情やできごと等を読み取っている。 d 古語を理解し、適切に現代語訳している。 古典文法：助動詞「つ」「ぬ」「たり」「り」を理解している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
2学期	随筆 ㊦	『徒然草』 「公世の二位のせうとに」 「奥山に、猫またといふものありて」 「相模守時頼の母は」 「よろづのことは頼むべからず」	○		○	○	a 作者の意図を理解し、随筆を読み進めようとしている。 c 作者の心情や主張、場所、できごとと、人物の様子や心情とその変化を読み取っている。 d 『徒然草』の文学史的価値を理解している。 古語を理解し、適切に現代語訳している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
	和歌	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○			○	a それぞれの和歌を読み味わっている。 d 古語や和歌の修辞について理解し、適切に現代語訳している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
	日記	『更級日記』 「門出」 「源氏の五十余巻」	○		○	○	a 日記を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 c 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 d 図説などを適切に利用し、作品の概要を理解している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
	項羽と劉邦	『項羽と劉邦(史記)』 「鴻門之会」	○		○	○	a 歴史的背景を理解し、漢文を読み進めようとしている。 c できごとと人物の心情、沛公が脱出できた理由を読み取っている。 d 語彙の意味や句法を理解し、訓読から現代語訳している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査
3学期	物語 ㊦	『平家物語』 「忠度の都落ち」	○		○	○	a 歴史的背景を理解し、表現を味わいながら物語を読み進めようとしている。 c 表現上の特色を理解し、中世の敬語や語彙、優れた表現に親しむ。 d 音便や挿入句といった、語り物の特色について理解し、適切に現代語訳している。	行動の観察／ 記述の確認／ 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力

c:読む能力 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。